令和 4年度

事務事業評価表 ( 令和 3年度 の実績評価)

記入年月日

													T.	和 4 年	4	月	В Н
	事務事業	<b>学</b> 夕		新年の集い事業								事業区分	担当				
	争协争。	未亡		利什り未り尹未								新規/継続	/継続 継続		060102000885		
					政策体	\$系上σ	)位置付	置付け				単独/補助	単独	所属課	0.	10101	1
政	総合計画の施策名						市民協働のまちづくり						別馬味	秘書広報課			
策	政策名			О	6 み	んなで	築く自	治のまちこ	づくり					課長名			
体	J.	施策名		О	11 市	民協働	のまち	づくり						グループ	秘	書広報(	G
系		手段名		О	2 2	協働の	まちづ	くりの推進	<u>É</u>					担当者名			
					財務記	計上の	D位置的	tt			量	第 業 期 間					
3	予算科目	会計	款	項		事業	細		一般会計			単年度繰返し	/ (平	成17 年度~	·)		
		01	02	01	04	02	00		秘書関係事	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		期間限定の場合、総		投入量を(3)	)投入量	の右側	に記入
```	去合根拠																

(1) 事務事業の現状把握(その1)(1) 事務事業の概要

## ①事務事業の概要(事務事業の全体像)

日頃より、市政発展のためにご尽力いただいている市民や関係団体の役員を招待し、桜川市の今後の発展に向けた情報交換や連携を深めることを目的に例年1月に開催している。市長からの式辞、地元選出の国・県会議員などの来賓の方々から祝辞をもらい、市長および来賓の方々と招待者の方々が懇談する時間 を設けている。 新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度は中止し、令和3年度は飲食

を提供せず開催した。

②担当者が行う業務の内容・やり方・手順

- ■市役所全課に対し、関係する団体・個人の役職名簿の提出依頼 ■役職名簿を基に被招待者を決定し開催通知および来賓への招待状を発
- ■返信ハガキにより当日の出欠者の把握
- ■会場準備
- ■式典挙行
- ■式典終了後、会場の後片付け ■来賓に礼状を発送

|※令和3年度は新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じ開催。

								ж т.	I YU Oʻ	十夕の初	¥-)	J) ') '  /// /	松米症の松米	別止刈束で語	の判定。
(	2)	事務	事業の手段・対象	・意図と各指	標、指標値の推	移						00	6 1 <del></del>	65 E ==	0.0 = ===
1	)手戶	文 (	担当者の活動内容)	)	④活動指標	(活	動量を表す指標)		単位	02年		03年度 (実績)	04年度 (計画)	O5年度 (目標)	06年度 (目標)
対象者を把握し、招待状を発送する。 出席者への贈答品を選定・発注する 会場の準備。当日の式典運営。式典終了					実施回数				0		0.00	1.00	1.00	1.00	1.00
										С	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会場の発用。当日の民央産者。民央に「 後、会場の後片付け。 礼状の発送。									С	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
										C	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2	②対象 (誰、何を対象にしているのか)			⑤対象指標	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)			単位	02年		03年度 (実績)	O4年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)	
市政発展のためにご尽力いただいている団 体役員や個人					招待者数				人	С	0.00	1,331.00	1,450.00	1,450.00	1,400.00
					]					С	00,0	0.00	0.00	0.00	0.00
											0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
3	意[		この事業によって対 るのか)	対象をどう変え	⑥成果指標	⑥成果指標 (対象における意図の達成度 を表す指標)			単位	O2年 (実績		(実績)	O4年度 (計画)	O5年度 (目標)	06年度 (目標)
+\\\					参加者数				人	С	0.00	262.00	300.00	300.00	300,00
桜川市の発展に向けた情報交換や連携を深めることで、市政運営の円滑化と市政のさ										С	00,0	0.00	0.00	0.00	0.00
5)	らなる発展が期待できます。									С	00,0	0.00	0.00	0.00	0.00
(	(3) 投入量(事業費)の推移			02年度 (実績)		O3年度 (実績)		4年度 計画)			)5年度 (目標)	06年度 (目標)		間限定 終投入量	
		0.4	国庫支出金県支出金	千円		0	0			0					
垃	事	財源	地方債	千円		0	0			0					
17	業	内	使用料・手数料			Ō	0			Ö					
_	費	訳	その他	千円		0	540			600					
入		7	一般財源	千円		0	396			336					
	H		事業費計(A) 規職員従事人数	千円 人	2.00人	0	936 2,00人		入OC	936					
量															
				03年度事業費	実績(千円)				O4年度事業費 B		予算(千円)				
		報償		320					現償費			320			
事	10	需用	質	616				10 需原	刊賀			616			
業費															
質の															
内															
訳															
					合	†	936						合	計	936
						1	1 930							01	930

				(桜川市行政評価システム)										
	の集い事業	事務事業№.	60102000885	所属課 秘書広報課										
合併以前から2町1村で開催 ための情報交換や連携を深る	きっかけは、いつ頃どんな経緯で開始でいる。 してきたことから、合併後も市政発があることを目的に賀詞交換の場を設け、 はしてもらい暖かい飲食物を提供し、	展のためにご尽力いただいてい けている。平成27年より出席率	)る団体役員や個人の方 窓向上のため鏡開きを行	を招待し、更なる桜川市の発展の い、アルコール類を提供し、平成										
(5) この事務事業に対して関	係者(住民、議会、事業対象者、利害		要望が寄せられているか	?										
	合せや招待要請などがあり、本事業も													
【See】 2. 評価の部	*原則は事前評価。	評価項目												
	この事務事業の目的は市の政策体系に結び	<u> </u>	びついているか?)											
革改善結びついている	年頭にあたり、市の考え方や政策を りに結びつく。	示す場であるとともに、出席	者のご意見・ご要望を耶	<b>恵くことにより、市民協働のまちづく</b>										
善②公共関与の妥当性(な	ぜこの事業を市が行わなければならない <i>の</i>	)か?税金を投入して、達成するE	目的か?)(法定受託事業は	はその名称)										
行う。妥当である	しめり、云真と版収することにより、何立の技人ははこれにないにの女当しのも。													
③ 成果の向上余地 (成果を														
向上余地がある	図の必要がある。													
④廃止・休止の成果への影響	成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)													
有 効 影響有 性	市民の代表の方に、市の施政方針や国・県会議員の来賓の方々から国や県の施策を直接聴ける設定が他にないため、廃止した 場合の影響は大きいと思われる。													
⑤類似事業との統廃合・連打 (他に手段がある場合)	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか?(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) 具体的な手段、事務事業名													
余地がない	類似事業はありません。													
効 ⑥事業費・人件費の削除余期	也(成果を下げずに事業費を削除でき	ないか?やり方を工夫して延	べ業務事業を削減できた	ないか?)										
率 性 削減余地がない	事業の事前準備は、2人の職員(兼	任)で担当しており、削減の	余地はない。											
公 ⑦ 受益機会・費用負担の適	正化余地(事業の内容が一部の受益者	に偏っていて不公平ではないか?	受益者負担が公平・公正に	こなっているか?)										
平性と公正・公平である	市政発展のためにご尽力をいただい	つている団体役員や個人など、	市民の代表の方々を対象	<b>象にしているため公平公正である。</b>										
	舌と今後の方向性(次年度計画と予算													
(1) 1次評価者としての評		(2) 全体総括(振り返り		国人など市民の代表の方々を対象にし										
①目的妥当性 ■ 適切 ②有効性 □ 適切 ③効率性 ■ 適切 ④公平性 ■ 適切	□ 見直し余地あり ■ 見直し余地あり □ 見直し余地あり □ 見直し余地あり	ているため、公平・公正の面	iから出席率の向上を図る ナウイルス感染症の感	る必要がある。 染防止対策のため会場を変更し、会場										
(3) 今後の事業の方向性														
□ 終了 ■ 継続	■ 改革改善を行う	T		(終了・廃止・休止の場合は記入不要)										
□ 廃止 □ 休止	□現状維持□□□		連携ができる	削減 維持 増加										
(5) 改革 改善を実現する	5上で解決すべき課題(壁)とその解	·····································												
課題:感染症対策と会場規模		N/N		成維										
解決策:招待者を絞る				果特低下										
				(6)事務事業優先度評価結果										
				成果優先度評価結果										
	草改善に向けての指摘事項	(つ) 並には表れてすぎます。												
(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価	□ (味文評価により、	C、D判定及び確認が必要な場合)										
課長確認後の評価	(古)	確認欄												
B   A:継続(現状維   B:継続(改革改	:持) C:終了、廃止、休止 :善を行う) D:2次評価へ提出													